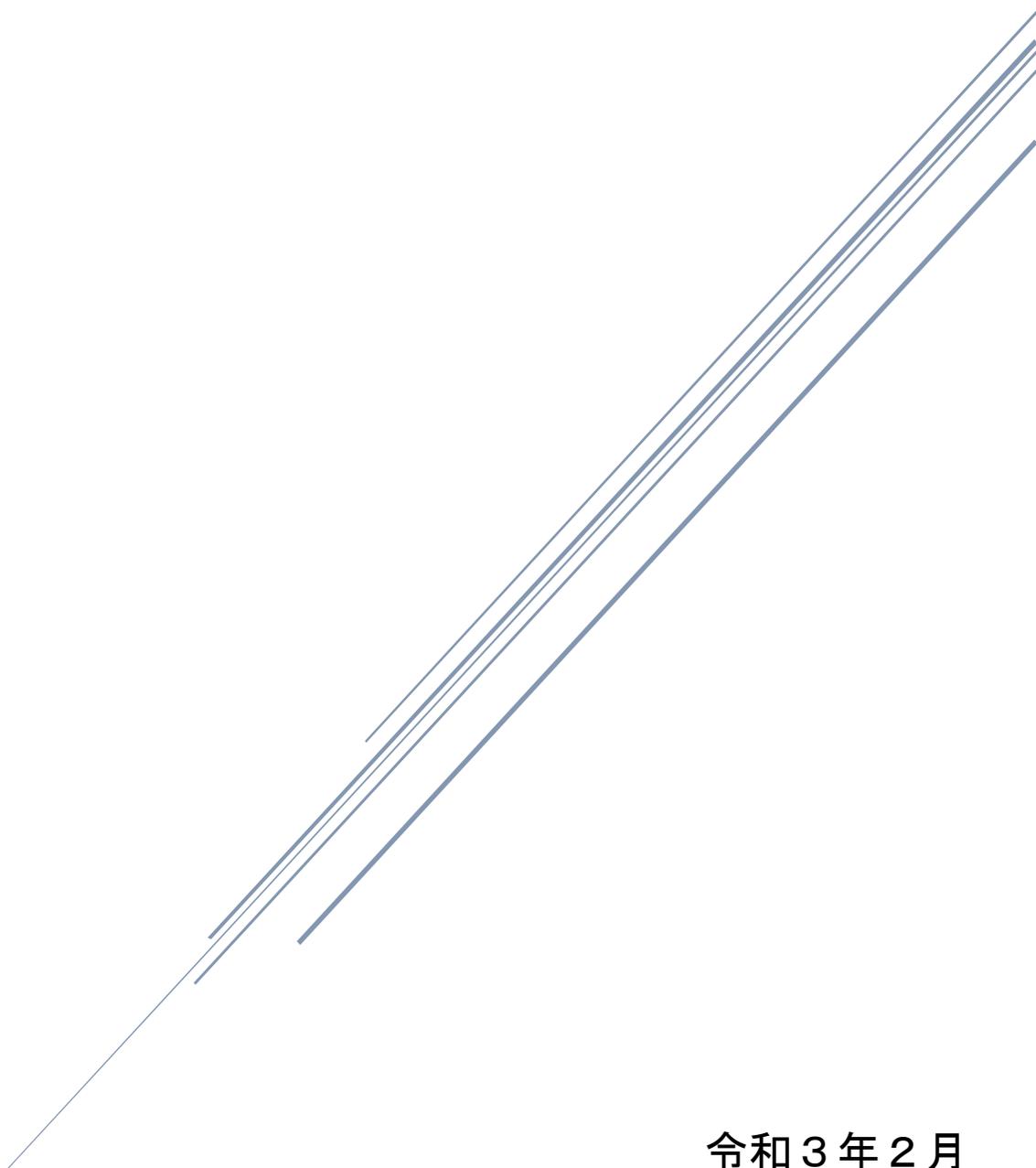


令和2年度 第2回

# 電話によるアンケート調査報告書



令和3年2月



---

# 目 次

---

1	調査の概要.....	1
(1)	調査の目的.....	1
(2)	調査の設計.....	1
(3)	回答数.....	1
(4)	質問内容（自動音声）.....	1
2	回答者の属性.....	2
	年代の内訳.....	2
3	調査結果.....	2
(1)	新型コロナウイルス感染症の影響による子育ての悩み、困りごとの増減... ..	2
(2)	コロナ禍における子育ての困りごと、悩みごと.....	3
(3)	オンライン相談の利用意向.....	6
(4)	オンラインでできたらいいと思う手続.....	7

## 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

本調査は、新型コロナウイルス感染症の拡大など、子育て世帯を取り巻く環境が厳しい中、子育て世帯が抱える顕在的・潜在的な不安や悩みを把握するとともに、子育てに関わる行政手続のオンライン化のニーズの把握を目的に実施したものであり、本調査で得た結果については、今後の施策・事業を推進するための参考とする。

なお、調査手法については、郵送やWebでのアンケート調査では得られにくい、具体的な意見や感想といった定性的な情報を収集するため、電話による調査とし、選択式（プッシュ式）及び発話式（自由意見）で行った。

## (2) 調査の設計

調査対象	寝屋川市内に在住する市民 ※調査内容は主に子育て世代をターゲット
調査方法	IVR（自動音声応答）を利用した電話調査 ア アンケート及びフリーダイヤル番号の周知 イ 市民から受電し、自動音声により、発話による回答を取得
調査時期	令和2年10月20日～11月30日

## (3) 回答数

回答数（受電数）	134件
有効回答数	117件

※有効回答数とは一問以上回答した人の数

## (4) 質問内容（自動音声）

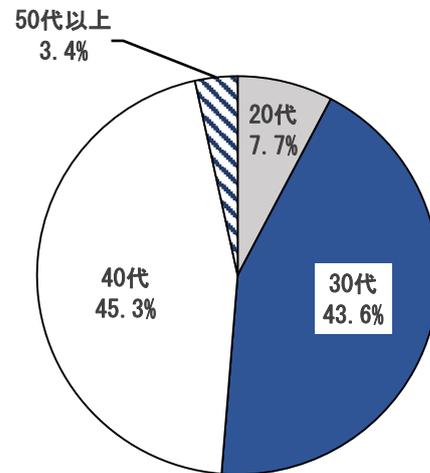
属性	年齢
	郵便番号（市内居住地区の確認）
1	子育てする上で、新型コロナウイルス感染症の影響によって、悩むことや困ることは増えましたか。
2	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てで困っていること、悩みがあれば教えてください。
3	子育て相談として、窓口に行かずオンラインでの相談などがあれば利用したいですか。
4	今後、子育てに関して、オンラインやインターネットでできたらいいと思う手続を教えてください。

## 2 回答者の属性

### 年代の内訳

年代別にみると、40歳代が45.3%で最も多く、次いで30歳代が43.6%の順になっている。

年齢	人数 (人)	構成比
20歳代	9	7.7%
30歳代	51	43.6%
40歳代	53	45.3%
50歳代以上	4	3.4%
合計	117	100%



(N=117)

## 3 調査結果

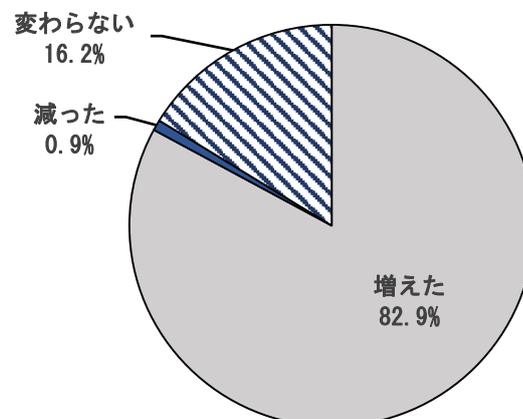
### (1) 新型コロナウイルス感染症の影響による子育ての悩み、困りごとの増減

子育てする上で、新型コロナウイルス感染症の影響により、悩むことや困ることは増えたかについて、回答は以下のとおりとなった。

「増えた」と答えた人が82.9%と高くなっている。

**【新型コロナウイルス感染症の影響によって子育ての悩みや困りごとは増えましたか】**

年齢	人数 (人)	構成比
増えた	97	82.9%
減った	1	0.9%
変わらない	19	16.2%
合計	117	100%



(N=117)

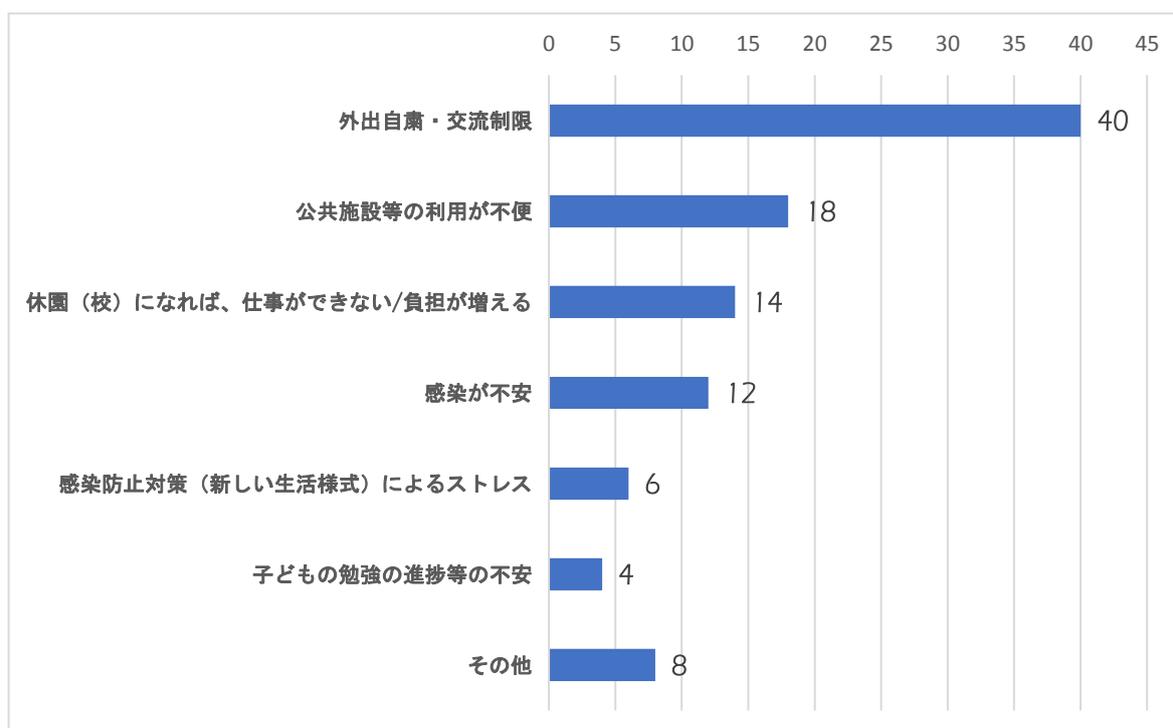
## (2) コロナ禍における子育ての困りごと、悩みごと（自由意見）

「新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てで困っていること、悩み」について、回答は以下のとおりとなった。

「外出自粛・交流制限」が40件と最も多く、次いで「公共施設等の利用が不便」が18件の順になっている。（複数回答あり）

## 【新型コロナウイルス感染症の影響により子育てで困っていること、悩み】

	件数
外出自粛・交流制限	40
公共施設等の利用が不便	18
休園(校)になれば、仕事ができない/負担が増える	14
感染が不安	12
感染防止対策(新しい生活様式)によるストレス	6
子どもの勉強の進捗等の不安	4
その他	8
合計	102



「その他」の主な内訳は、「減収による将来への不安」「新型コロナウイルス感染症をきっかけとした差別や偏見への不安」など

「新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てで困っていること、悩み」の主な意見の抜粋

**〈外出自粛・交流制限〉**

- ・子どもが産まれたが、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、他の子どもたちと交流する機会が減少したので困っている。
- ・子どもとの時間が増えた一方、ママたちとの交流が減ったのでストレスが増えた。
- ・子どもを連れての外出を控えており、楽しく外で遊べない。

**〈公共施設等の利用が不便〉**

- ・子育て支援センターに行きたいが、人数制限があり、行きたい時に行けないのが困る。
- ・予約をしなければ公共施設（子育て支援施設）の利用ができないことがもどかしい。
- ・公共施設（子育て支援施設）の利用制限により、保健指導を受ける機会が減少した。

**〈休園（校）にあれば、仕事ができない/負担が増える〉**

- ・保育園が休園になってしまうと仕事に行けなくなるので不安
- ・保育園の休園により、孫の世話をする時間が増え、負担になることがある。
- ・休校時に、家事、育児、学習の支援を全て一人でしなければならず負担が大きい。

**〈感染が不安〉**

- ・子どもが部活、学校などで、新型コロナウイルスに感染しないか不安
- ・新型コロナウイルスに感染しているか不安になり、少しの体調の変化に敏感になった。
- ・保育園に預けているが、子どもが感染しないか不安
- ・高齢の方は感染すると重症化するリスクが高いため、同居している両親が感染しないか心配

**〈感染防止対策（新しい生活様式）によるストレス〉**

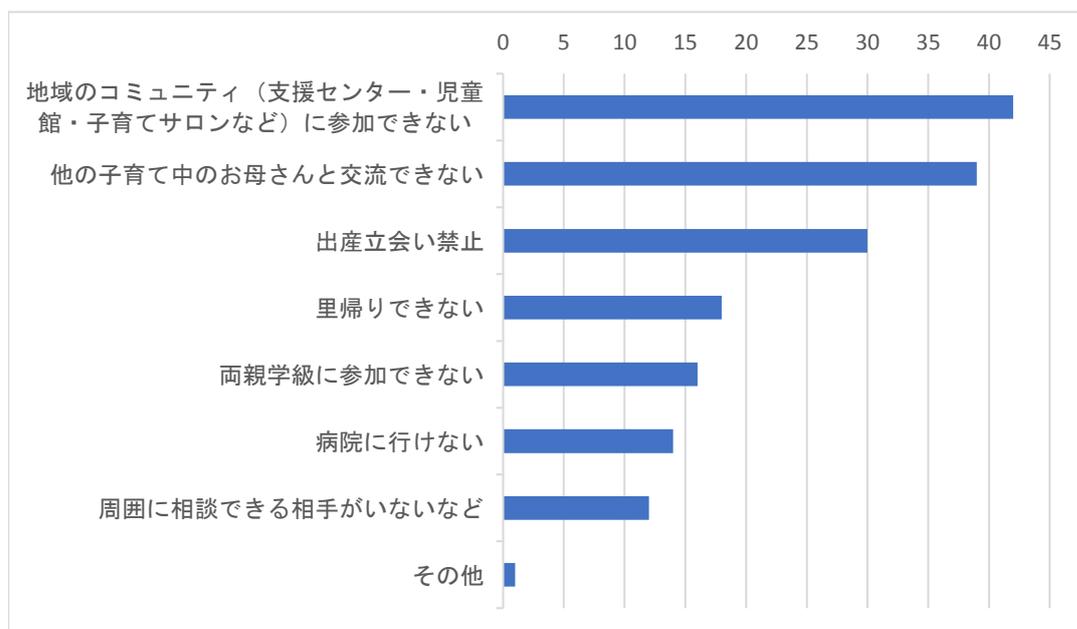
- ・発熱した時、新型コロナウイルス感染症の場合も考えられるため、適切な対応がわからない。
- ・小学校のマスクの着用、換気の徹底等の感染防止対策が、子どもの負担になっているのではないかと心配
- ・感染防止のため理解はしているものの、朝の準備に忙しく、毎朝検温することにストレスを感じる。

**〈子どもの勉強の進捗等の不安〉**

- ・学習する機会が減ってしまったことによる、子どもの勉強不足が不安

※参考 民間調査との比較 江崎グリコ株式会社調査 令和2年9月

調査の結果、妊娠中もしくは0～2歳の子どもがいる保護者300人のうち、新型コロナウイルス感染症拡大によって、孤独感や心細さを感じている保護者は、約7割おられ、その理由は以下のとおりであった。(複数回答)



#### 【考察】

- ・ 本市の調査結果では、新型コロナウイルス感染症の影響により悩んでいることとして、「外出自粛・交流制限」を挙げられた方が多かった。
- ・ 民間調査によると、新型コロナウイルス感染症の拡大により、孤独感や心細さを感じている保護者は約7割おられ、その理由は、「地域のコミュニティ（支援センター・児童館・子育てサロンなど）に参加できない」「他の子育て中のお母さんと交流できない」が上位であり、本市の調査と同様、外出自粛・交流制限により、孤独感や心細さを感じていることが考えられる。
- ・ コロナ禍の中、「外出自粛・交流制限」「公共施設等の利用が不便」と悩まれる方が多い一方、「感染が不安だ」という声もあることから、市民が参加する取組・催しについては、ソーシャルディスタンス、感染防止対策等を徹底し、市民の不安を少しでも軽減させることが重要である。
- ・ 交流制限に伴う悩みごとの相談機会の減少等により、孤立感や孤独感を感じていることが考えられるため、オンライン等の活用により、孤立感、孤独感、不安及びストレスの軽減につながる取組を推進していくことが重要と考える。

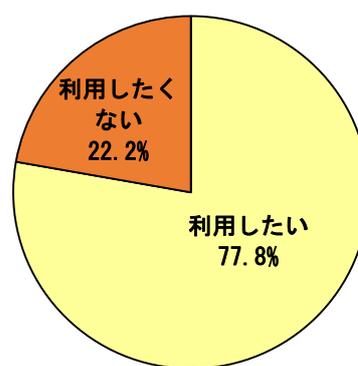
## (3) オンライン相談の利用意向

子育て相談窓口として、窓口に行かずオンラインでの相談などがあれば利用したいかについて、回答は以下のとおりとなった。

「利用したい」と答えた人が77.8%と高くなっている。

## 【子育てに関するオンライン相談があれば利用したいですか】

	人数 (人)	構成比
利用したい	91	77.8%
利用したくない	26	22.2%
計	117	100%

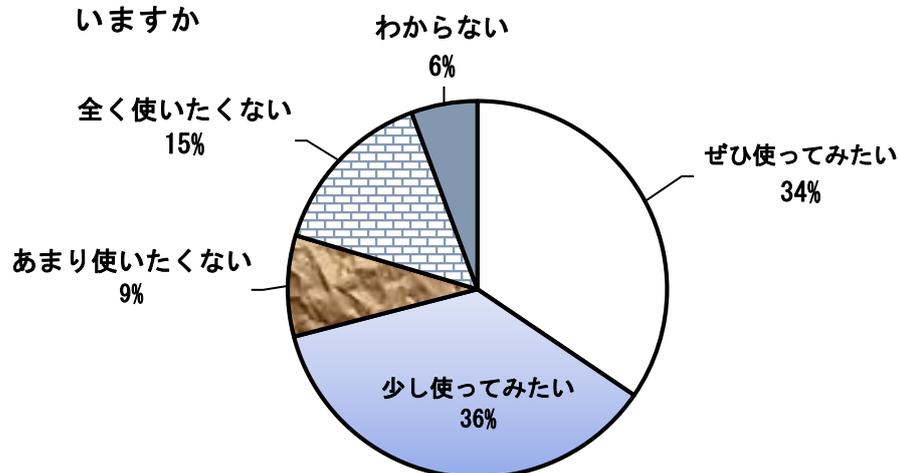


(N=117)

※参考：民間調査との比較 令和2年6月 (株)エムティーアイ調査

妊娠中、育児中の5,041人へのアンケート結果は以下のとおりであった。

オンラインで妊娠中や出産、子育てに関する相談や申請について、役所に行かずにできるサービスがあれば使ってみたいと思いますか



## 【考察】

民間調査においても、オンラインでの子育て相談等については、「ぜひ使ってみたい」「少し使ってみたい」を合わせると70%となっており、本市の調査でも「利用したい」が77.8%であることから、今後も、オンラインでの子育て相談のニーズは高まっていくことが考えられる。

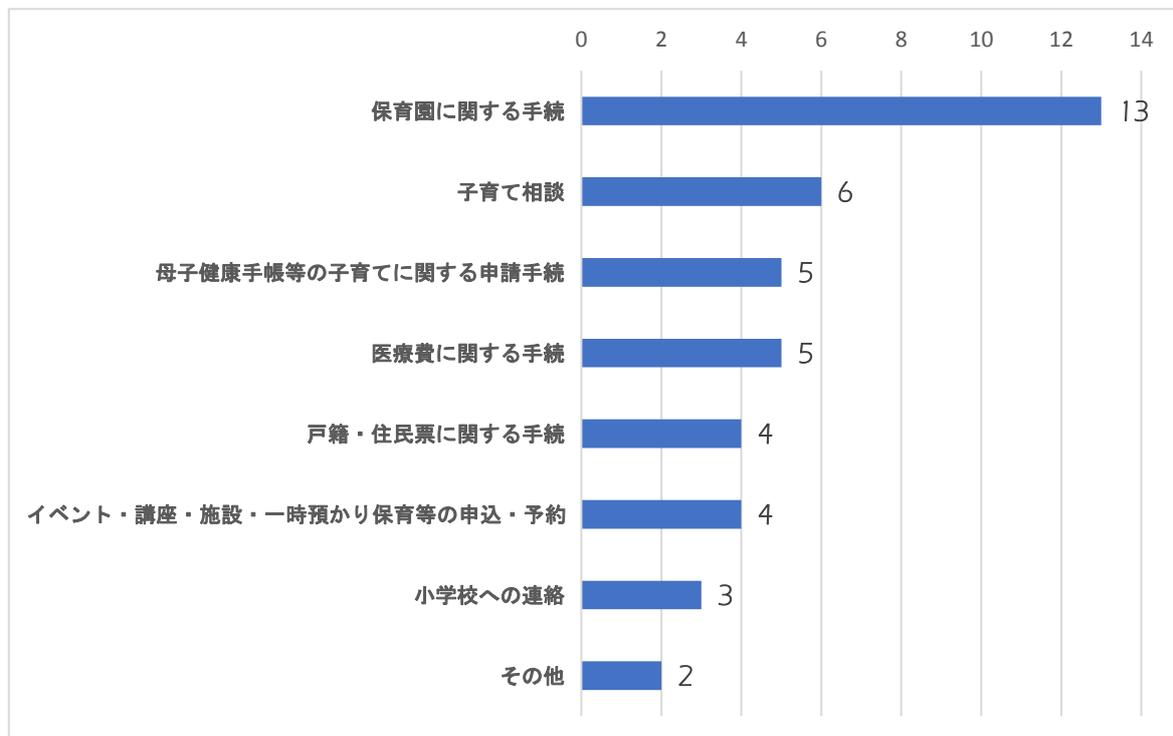
## (4) オンラインでできたらいいと思う手続

今後、子育てに関して、オンラインやインターネットでできたらいいと思う「手続」について、回答は以下のとおりとなった。

「保育園に関する手続」と回答した人が13件（うち「保育園の入園手続」と回答した人10件）と最も多く、次いで「子育て相談」が6件の順になっている。（複数回答あり）

## 【オンラインでできたらいいと思う手続】

	件数
保育園に関する手続	13
子育て相談	6
母子健康手帳等の子育てに関する申請手続	5
医療費に関する手続	5
戸籍・住民票に関する手続	4
イベント・講座・施設・一時預かり保育等の申込・予約	4
小学校への連絡	3
その他	2
合計	42



「その他」は、「オンライン授業」「オンラインでの乳幼児健診」

※参考：民間調査との比較 令和2年6月 (株)エムティーアイ調査  
 育児中の3,889人へのアンケート結果は以下のとおりであった。

オンラインで行ってほしい事業を最大3つ選んでください。(複数回答 上位5つ)

保育所・認定こども園・幼稚園の入園申込手續	16.1%
出生届・児童手当・乳児医療証の手續	15.9%
自治体の保健師や助産師の相談	13.2%
離乳食教室などの自治体で行われるイベント	12.2%
子育て支援センターや公園、図書館等の遊び場でのイベント	8.8%

#### 【考察】

- ・ 民間調査においても、オンラインで期待する手續については、本市の調査と同様、「保育園の入園手續」が最も多い。
- ・ 次いで、「子育て相談」「母子健康手帳等の子育てに関する申請手續」等を求める声が多く、自宅にいながら気軽に相談・手續できる環境の整備が必要と考えられる。
- ・ 今後も、新型コロナウイルス感染症が拡大していくことを考慮すると、オンラインでの手續等のニーズは高まっていくことが考えられ、子育て世代の負担軽減等の観点からも手續のオンライン化を進めていくことは重要と考える。

**令和2年度 第2回電話によるアンケート調査  
報告書(令和3年2月)**

**寝屋川市 経営企画部 企画二課**

〒572-8555 大阪府寝屋川市本町1番1号

TEL : 072-825-2019 FAX : 072-825-0761

URL : <http://www.city.neyagawa.osaka.jp>

E-mail : [kikaku02@city.neyagawa.osaka.jp](mailto:kikaku02@city.neyagawa.osaka.jp)